【事業報告】

（１）事業活動（事業の実施状況）

〈公益目的事業１：県内の河川及び湖沼における水産資源の増殖促進に関する事業〉

ア　増殖促進事業

県内の内水面漁業協同組合（以下「内水面漁協」という。）が河川及び湖沼の水産資源の増殖を促進するために実施する、淡水魚介類（アユ、ヤマメ、ウナギ等）の種苗の放流及び水産資源の確保のための事業（産卵場造成等）に対し、事業費の一部を助成した。

また、３河川の漁業協同組合に対する令和４年度と５年度の２カ年限定の集中的支援であるアユ資源緊急対策等の取組についても、その事業費の一部を助成した。各水面漁協の実施事業内容等は下記のとおり。

近年、県内における河川や湖沼を取り巻く環境は、河川工事、自然流水量の減少等により自然生態系が大きく変化し、水生動物等の生息環境が著しく損なわれ、魚類等の水産資源が年々減少している。当法人は、内水面漁協の行う事業に対して助成を行うことにより、水産資源の保護増殖、河川及び湖沼の環境改善に寄与している。

決算額：１０，７７９，０００円

［実施状況］　※河川漁協の①、②は、①従来の事業、②集中的支援の事業

（ア）実施主体：千代川漁業協同組合

・概要：アユの種苗放流及び産卵場造成、ヤマメの種苗放流

①アユ稚魚 960 kg放流、アユの産卵場造成

②アユ稚魚 300 kg放流、ヤマメ稚魚 16 千尾放流

・事業費（うち助成費）：4,133,540 円（3,393,000 円）

①2,925,240 円（2,393,000 円）

②1,208,300 円（1,000,000 円）

（イ）実施主体：天神川漁業協同組合

・概要：アユの種苗放流、ヤマメの種苗放流、渓流魚の産卵場造成、アユの発眼卵の放流

①アユ稚魚 120 千尾放流、ヤマメ成魚 550 kg放流、渓流魚の産卵場造成

②アユ稚魚 30 千尾放流、アユ発眼卵 500 千粒放流、ヤマメ成魚 200 kg放流

・事業費（うち助成費）：3,869,000 円（2,367,000 円）

①2,807,600 円（1,367,000 円）

②1,061,400 円（1,000,000 円）

（ウ）実施主体：日野川水系漁業協同組合

・概要：アユの種苗育成・放流、ヤマメの種苗放流、サケの種苗育成・放流、ウナギの種苗放流、カワウ駆除、産卵場造成、アユ親魚放流等

①アユ 2,996 千尾育成（一部放流）、ヤマメ 48 千尾放流、サケ 37 千尾育成・放流、ウナギ 40 kg放流、アユ・渓流魚の産卵場造成、カワウ駆除等

②アユ親魚 7.5 千尾育成・放流

・事業費（うち助成費）：46,274,464 円（3,619,000 円）

①45,030,354 円（2,619,000 円）

② 1,244,110 円（1,000,000 円）

（エ）実施主体：湖山池漁業協同組合

・概要：フナの採卵・孵化 50 千尾放流、ウナギ稚魚 30 kg放流、シラウオ及びエビの産卵場造成、シジミ漁場清掃、養殖場の維持

・事業費（うち助成費）：1,095,418 円（692,000 円）

（オ）実施主体：東郷湖漁業協同組合

・概要：ウナギ稚魚 60 kg放流、フナ稚魚 30 千尾放流、エビ、シラウオ等の産卵場造成、漁場整備、湖底耕うん

・事業費（うち助成費）：981,000 円（708,000 円）

〈公益目的事業２：県内の河川及び湖沼における水生動物等に親しむ機会の提供の促進に関する事業〉

イ　ふれあい事業（一部県補助事業）

県内の市町村、非営利団体、内水面漁協が河川又は湖沼において実施する、地元の住民を中心とした魚のつかみ取り、放流等の事業に対し、事業費の一部を助成した。令和４年度は、当初 14 実施主体が事業を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、９実施主体の事業が中止、又は取下げとなり、最終的に下記５事業となった。このうち、民間団体等が実施主体の事業は、鳥取県か

らの補助金により助成した。

近年、水生動物等に親しむ機会が希薄しているため、本事業の役割はますます重要であると考える。この事業を通じて、内水面に関心を持ってもらうとともに、環境に対する理解を深めてもらうほか、生態系の保全・維持の重要性を周知している。

決算額：２０９，０００円

［実施状況］

（ア）実施主体：八頭町

・概要：地元の保育園児44名、町職員等によるヤマメの稚魚放流。

・効果：水産資源の保護増殖を図ることができたほか、魚の豊かな川づくりの醸成につながった。

・事業費（うち助成費）：100,000円（50,000円）

（イ）実施主体：若桜町

・概要：地元の保育園児20名、千代川漁業協同組合の組合員によるヤマメ及びイワナの放流。

・効果：水産資源の保護及び培養に取り組むことができたほか、釣り客の集客、清流のまち若桜のPRに繋がった。

・事業費（うち助成費）：469,000円（50,000円）

（ウ）実施主体：小鷲河ふる里をまもる会

・概要：参加者275名による淡水魚の生態観察、ヤマメのつかみ取り。

・効果：親子のふれあいの場となったほか、自然環境の大切さ、河川に生息する生き物について学ぶことができた。

・事業費（うち助成費）：108,801円（50,000円）

（エ）実施主体：三滝まもり隊

・概要：参加者241名による釣り堀でのヤマメ釣り体験。

・効果：水や魚に親しむ楽しさを体験してもらう機会となった。

・事業費（うち助成費）：77,903円（38,000円）

（オ）実施主体：日野川水系漁業協同組合

・概要：地元の保育園児25名によるサケの稚魚体験放流。

・効果：水や魚に親しむ機会となったとともに、水産資源の保護増殖、漁業振興の活性化につながった。

・事業費（うち助成費）：42,800円（21,000円）

〈公益目的事業３：県内の河川及び湖沼に関する水産資源の保護培養のための普及啓発に関する事業〉

ウ　普及啓発事業

内水面に関わる利害関係者（一般県民、行政、漁業関係者等）が内水面における水産資源の実情を認識し、正しい専門知識を身につけ効果的な事業の実施及び信頼を深め協力体制の構築に繋がる機会を提供するため、各関係者が情報共有、学ぶ機会となる現地指導会を鳥取県と連携して実施した。（令和４年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、参加者を関係者に限定）また、内水面に関する規則等重要な情報を積極的に発信していくこと等により、水産資源の保護培養のための普及啓発を行うため、内水面に関する規則等を掲載した県内の主要河川水系等のマップを作成した。

決算額：１０４，２２５円（マップ作成費用）

（ア）現地指導会の実施

・日　時：令和５年１月19日（木）午前９時30分から午前10時20分まで

・場　所：鳥取市河原町片山地先　千代川水系八東川　永野堰

・参加者：細本誠事務局長、中瀬香織書記　　ほか県、漁協等関係者35名程度

・概　要：はじめに、令和３年度から鳥取県が進めている鳥取市河原町にある永野堰の魚道改修工事について、修繕内容、施工状況等を担当者と山口県から招いた講師から説明後、実際に施工の様子を見学したり、直接参加者が指導を受けながら石を配置したりした。利害関係者が魚道改修の必要性、問題点を認識し、情報共有するとともに、施工方法等を学ぶ機会となった。

（イ）マップの作成（合計4,700部作成）

・天神川水系川マップ、日野川水系川マップ、湖山池マップ、東郷池マップを最新の情報に修正し、各関係機関（内水面漁業協同組合、県内の市町村、遊漁証取扱先）に配布した。また、このマップを多くの方に幅広く活用してもらうため、ホームページに掲載し、内水面に関する規則等の情報を発信した。